高生の丘

北九州市立高生中学校
学校通信　体育大会特集号　No.１０
発行責任者　校長　寺田　訓康
ＴＥＬ　８８１－３２７６
平成２９年９月２２日発行

■ 力戦奮闘してまとまった体育大会！！

ご観覧・お手伝い頂きありがとうございました。

１８日（日）に予定していた体育大会が、台風の接近のため翌１９日（月　敬老の日）に順延されました。この間、地域や保護者の皆様には、様々な面でご協力を頂きありがとうございました。特に、ＰＴＡや親父の会の皆様には、早朝からテントの設営や警備・接待にご協力いただきました。おかげさまで、生徒や職員は、競技に集中して取り組め、意義ある体育大会を実施できました。

そして、保護者や地域の皆様が一つにまとまって協力いただいたように、高生中学校生徒２６７名も一つにまとまった体育大会を送ることができました。

今年度のスローガンは、「力戦奮闘」でした。下田生徒会長を先頭に全生徒が、きびきびとした態度で入場しました。選手宣誓では、体育委員長の山本君と赤組三浦君、黄色組恒石君、緑組中川君の３人の色長が、思い出に残る体育大会を作ると宣言してくれました。その後ろに、黄色組体育委員の白岩さん、赤組体育委員の藤本さん、緑組体育委員の杉元さんの色旗を先頭に 267 名がきちんと整列し、素晴らしい体育大会を作ろうとの決意が感じられました。

応援合戦はありませんが、全ての競技で、色や学年を超えて応援する姿は、学校全体のまとまりが感じられました。また、最後の整理体操でも、疲れているにも関わらず、一番前から後ろまで指先がピンと伸びた姿は、美しささえ感じられました。力戦奮闘して一つにまとまった高生中学であれば、どんな困難も乗り越え、高いレベルの目標が達成できると確信しました。

この様に、学校全体でまとまることができた大きな理由の一つに実行委員会の存在があります。夏休みから、勉強や部活動で忙しい中、それぞれの色の演技やダンスの構想を立ててくれました。しかし、2 学期に入ると練習で、その気持ちが中々仲間に伝わらず、涙を流したこともありました。そんな、実行委員を支えてくれたのも、全校生徒という仲間でした。練習の終わりに実行委員達が、下級生を含む仲間達に「協力してくれてありがとう」と感謝の言葉が聞かれました。また、練習の反省では、1，2 年生が「まだまだできていないことがあるけど、頑張ります」と前向きな気持ちを述べてくれました。こうした毎日の積み重ねが、体育大会でのまとまりにつながったと思います。昨年の体育大会も素晴らしかったのですが、年々まとまりが出てきています。確実に伝統が、受け継がれていることは素晴らしいと思います。

各色に、順位はつきましたが、どの色も力戦奮闘し、その結果一つにまとまったことは、体育大会の一番の目標です。そういった意味でこのような体育大会を行えた生徒の皆さんのまとまりに心から拍手を送り、これからの一層の活躍に期待したいと思います。

■ 集団行動のキメポーズです。

今年の体育大会も、全学年が授業で学んだ集団行動を皆さんの前で披露しました。集団行動の一つ一つの動きの度に、観客席の保護者や地域の皆様から「オーッ」という感嘆の声が、そして、最後の写真体形では、「かわいい」とか「かっこいい」という声が聞こえてきました。集団行動でも順位を付けましたが、どの色も素晴らしく、ご覧になっている皆さんには、どの色も１番だったのではないでしょうか？

小さな写真ですが、各色の写真体形を見てください。皆さんキラキラ輝いていますね！

赤組の皆さんです。

黄色組の皆さんです。

みどり組の皆さんです

■こんなところでも頑張っています。

1 学期末に、皆さんに呼びかけたところ、防犯協会創立 60 周年記念の標語にたくさんの皆さんが応募してくれました。その中から、優秀賞に 2 年生の川名未来さん、石橋ひかるさん、清水瞭君、1 年生の女鹿翔栄君が選ばれました。

また、9 月 30 日に行われるイングリッシュコンテストに 2 年生の坂野美緒さんが出場します。頑張ってください。

給食レシピコンクールで 1 年生の永石由妃さんが最優秀の教育委員会賞を受賞しました。来年度給食のメニューに加わるかもしれません。

■教育相談を活用して下さい。

20 日（水）～27 日（水）にかけて、一人ずつ担任の先生と話す教育相談を実施しています。いじめで苦しむことがないようにするのが大きな目的ですが、困っていることや悩んでいることがあったらぜひ相談してみてください。担任の先生以外の話やすい先生でも構いません。話すだけで楽になることもありますよ！